MONTHLY
連合埼玉
VOL.298　2016年12月1日

発　行　日本労働組合総連合会埼玉県連合会(連合埼玉)
発行人　佐　藤　道　明
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-5-19(あけぼのビル2F)
TEL048-834-2300(代表)　毎月1日発行
JTUC

記事内容
☆第20回地方委員会
☆地方委員会　会長挨拶要旨
☆第20回地方委員会フォト
☆退任役員紹介
☆新任役員紹介
☆教育フォーラム
☆組合役員教育プログラム修了証書授与式/12月の行動日程
☆あけぼのビル

社会的なうねりと共感が得られる運動を！

～第20回地方委員会開催～

連合埼玉は、第20回地方委員会を11月16日(水)、浦和ロイヤルパインズホテルにて、地方委員・傍聴・来賓等、約170名の参加のもと開催した。

主催者代表挨拶において連合埼玉小林直哉会長は、「安倍政権の二枚舌政治との決別」「クラシノソコアゲ！RENGOキャンペーン第2弾」「2017春闘」「組織拡大」について考えを述べた。その後、上田清司埼玉県知事をはじめとした来賓挨拶に続き、昨年開催した第14回定期大会で決定した2016～2017年度運動方針にもとづき、中間総括となる2016年度活動報告・会計報告、2017年度活動計画・予算、役員の一部交代について審議され、全ての議案が満場一致にて確認された。また、「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」に関する特別決議が採択され、昨年度に引き続き、あらゆる行動と連携し運動を推進していくことが確認された。その後、「地方委員会アピール」が採択され、地方委員会を閉会した。

連合埼玉第20回地方委員会での報告事項および議事内容

【各種報告】
1)2016年度　活動経過報告
2)2016年度　会計報告
3)2016年度　会計監査報告
4)特別報告
①2016年度「埼玉県労働委員会」報告
②2016年度「埼玉地方最低賃金審議会」報告

【議事】
第1号議案　2017年度　活動計画(案)について
第2号議案　2017年度　予算(案)について
第3号議案　役員の一部交代について

【その他】
1)「クラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン」に関する特別決議(案)の採択
2)第20回地方委員会アピール(案)の採択

E-mail:rengo-saitama@mlaa.rengo-net.or.jp
URL http://rengo-saitama.jp/

マンスリーは再生紙を使用しています

連合埼玉第20回地方委員会　挨拶要旨

会長 小林直哉

昨年の定期大会で2年間の運動方針を決定し、皆さんのご支援のもと運動を進め、折り返し点となる本地方委員会を迎えた。地方委員会開催にあたり、4点について所見を述べ、挨拶に代えたいと思う。

Ⅰ.二枚舌政治と決別しよう!

先の参議院選挙では、厳しい状況の中でご奮闘いただいた皆さんに心から敬意を表す。比例代表選挙では、12名の擁立組織と支援をいただいた26の構成組織の皆さんに、埼玉選挙区では大野元裕さんの再選に向け、ご尽力いただいた全ての皆さんに感謝申し上げる。しかし、残念ながら与党を追い込むには至らず、安倍政権の「二枚舌政治」は、ますます増長している。

1つ目は、「働き方改革」の二枚舌だ。政権は、希望出生率1.8を目指すとして、対策を打ち出した。しかし、若者の非正規労働者の賃金が低すぎてなかなか結婚できず、それが少子化につながっているという事実に切り込んでいない。非正規が増えるということは、正規が減るということだ。また、「長時間労働是正」を掲げる一方で、高度プロフェッショナル制度や裁量労働の営業職への拡大など、さらなる過労死を発生しかねない政策を画策するという二枚舌だ。今問われているのは、働かせ方の見直しである。「これ以上働かせてはいけないという労働時間の上限を、例外なく定めること」が不可欠である。過労死の責任が会社にあるのは勿論だが、36協定調印の一方の当事者である労働組合にも責任がある。労働者の健康と命を守ることは、労働組合の使命でもあることを、私たちは今一度肝に銘じなければならない。

2つ目は、「平和」についての二枚舌だ。集団的自衛権の行使容認の解釈変更は、詭弁・二枚舌の最たるものである。加えて、国連軍縮総会でも、唯一の被爆国として「核兵器廃絶」を唱えながら、核兵器を国際的に“違法”とする「核兵器禁止条約」交渉開始には123か国の賛成に対し、公然と反対するという二枚舌。日本は核保有国と非保有国の「橋渡し役」になるのではなかったのか。連合埼玉は、組合員はもとより、すべての働く埼玉県民に、事の本質を丁寧にわかりやすく伝える取り組みを一層強化しなければならない。

Ⅱ.「クラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン」第2弾を推進しよう!

残念ながら今、「クラシノソコ（暮らしの底）」が抜け落ち、格差と貧困が加速している。相対的貧困率は、世界34の先進国で組織するOECD中ワースト4位の日本。国民の6人に1人が貧困にあえいでおり、働く人の実に5人に1人が年収200万円以下のワーキングプア状態から抜け出せない現実がある。連合ならびに連合埼玉は、「クラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン」第2弾として社会に向けた運動と職場における取り組みで、誰もが取り残されることなく、すべての働く人の暮らしをソコアゲすることにつながる行動に全力で取り組む。また、中央労福協とともに取り組む「奨学金制度の拡充」もキャンペーンの重要なテーマの一つである。連合は「教育と働くことをつなぐ」橋を架け、すべての子どもたちに学ぶ機会を保障することを求めている。貧困の連鎖を防ぎ、家庭の経済状況の格差が教育機会の格差につながらないよう、「貸与から給付へ」「有利子から無利子へ」「学費を含めた教育費負担の軽減へ」「当事者の声を反映したより良い制度へ」向け、運動を強化していく。

小林直哉会長

Ⅲ.2017春季生活闘争

2016春季生活闘争では、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」と「格差是正」の実現が不可欠であるという認識のもと、「底上げ春闘」の旗を掲げた。その結果、過年度物価がゼロ近傍である中で月例賃金の改善を成し遂げたこと、非正規労働者について前年を上回る賃上げを実現したこと、そして企業規模間の賃上げ率のかい離を縮小したことなどは、画期的だったと思う。現在、連合は2017春闘方針として、経済・社会の構造変化や技術革新進展の中にあって、「経済の自立的成長」「包摂的な社会の構築」「ディーセント・ワークの実現」をめざし、引き続き「底上げ・底支え」と「格差是正」の実現に取り組む予定である。

Ⅳ.組織拡大

連合埼玉は2020年までに、20万連合埼玉を目指すことを決定し5年が経過した。この間、各構成組織との意見交換を実施し、組織拡大の取り組み状況や現状の課題について認識の共有をはかった上で、具体的連携について話し合い、帯同オルグなどを実施してきた。不当な労働環境で働く仲間からの1本の労働相談から、組合づくりをサポートするために、連合本部と連合埼玉、構成組織の三位一体の取り組みを引き続き強化し、情熱をもって仲間づくりに取り組むので、皆さんのご支援とご協力をお願いしたい。

地方委員会フォト

挨拶をする小林直哉会長

議長：森井真紀地方委員（UAゼンセン）
関口恒雄地方委員（電機連合）

書記：川島貴至さん（青年委員会）
齊藤　舞さん（女性委員会）

ネット21運動
NPO応援・物品助成パソコン贈呈式

連合・愛のカンパ
地域助成贈呈式

団結ガンバロー

来賓挨拶

上田清司
埼玉県知事

吉田太
さいたま市長特別秘書

宮本重雄
埼玉労福協副理事長

田畑一雄
埼玉労働局長

藤池誠治
埼玉県経営者協会副会長

枝野幸男
民進党埼玉県連常任顧問

畠山稔
連合埼玉議員会議議長

連合埼玉の新しい仲間

左：湯本和明副委員長
右：原健太郎書記次長

新規加盟組織紹介

全造幣労働組合さいたま事務所
（略称：全造幣さいたま）
代 表 者：副委員長　湯本和明
住　　所：さいたま市大宮区北袋町1-190-22
組織人員：106名
加盟形態：正式加盟
加盟届出日：2016年11月1日

E-mail:rengo-saitama@mlaa.rengo-net.or.jp
URL http://rengo-saitama.jp/

退任役員紹介

①在任期間　②産別・単組　③ひとこと

前執行委員　浅沼 直道（あさぬま なおみち）

①2015年11月～　1年間
②電機連合埼玉地方協議会
富士電機労働組合吹上支部
③一年間という短い期間でしたが連合埼玉の皆様には大変お世話になりました。この度、組織事情により退任することとなりましたが、産別を超えた取り組みや様々な経験は大きな財産であり、言葉では表せない感謝の気持ちでいっぱいです。連合埼玉のますますの発展と皆様のご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

前執行委員　西島 光昭（にしじま みつあき）

①2013年11月～　3年間
②JR総連埼玉県協議会
JR東労組
③3年間という短い期間でしたが執行委員を務めさせて頂きました。連合埼玉の役員の方々や構成組織の皆様に大変お世話になりました。ご迷惑をおかけした事が多かったと反省しております。JR総連は微力ではありますが、今後も連合埼玉の運動を広めるために奮闘する決意です。ありがとうございました。

前執行委員　髙橋 和哉（たかはし かずや）

①2009年11月～　7年間
②国公総連全農林労働組合
埼玉分会
③小林会長、小林副事務局長をはじめ連合埼玉役職員の皆様方には大変お世話になり、本当にありがとうございました。官公労部門連絡会・埼玉公務労協の取り組みで仲間の皆さんと力を合わせて楽しく活動できたことが一番の思い出です。組織事情により退任することとなりましたが、連合埼玉執行委員の経験を宝物として大切にしまっておきます。

前執行委員　倉持 光好（くらもち みつよし）

①2011年11月～　5年間
②日本教職員組合
埼玉教職員組合
③長きにわたり大変お世話になりました。組合員の皆様のご支援に感謝申し上げます。労働組合の原点は働く者が社会の主人公だということです。今後とも、働く者の団結と連携の絆を強め、更なる労働運動の発展を祈念いたします。

前執行委員　荻野 晃喜（おぎの こうき）

①2010年11月～　6年間
②建設埼玉
③私たち働く者の立場は、さらに厳しくなると予想されますが、産別・労組の役割はますます重要になります。連合の元でまとまって現場の声を届けていきましょう。私も側面から応援していきます。

前執行委員　矢口 昌広（やぐち まさひろ）

①2014年11月～　3年間
②JR総連埼玉県協議会
JR東労組
③連合埼玉では様々な構成組織の皆様とのつながりをつうじて、多くの事を学ぶことができました。青年委員会においては、若者に労働組合の必要性を感じてもらうことを念頭に幹事全員の想いを様々な運動として作り上げることができました。これからも仲間と共に労働運動をしっかり作り上げていきます。ありがとうございました。

新任役員紹介

①産別・単組　②血液型　③住所　④好きな言葉　⑤抱負

執行委員　竹内 秀之（たけうち ひでゆき）

①電機連合埼玉地方協議会
富士電機労働組合吹上支部
②AB型
③深谷市
④一期一会
⑤勤労者が安心して働き、くらし、そして希望を持てる地域社会を目指し、連合埼玉役員や構成組織の皆さんと協力しながら、連合運動を推進して参ります。新役員として微力ながら、出会いとつながりを大切に、精一杯努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

執行委員　齋藤 智之（さいとう ともゆき）

①JR総連埼玉県協議会
JR東労組
②A型
③さいたま市中央区
④日進月歩
⑤不勉強な点が多くありますが、若さを活かして前へと歩みたいと思います。労働者がおかれている環境が厳しくなる中、連合の役割はもっと高まる必要があります。微力ながらその一翼を一生懸命担わせていただきます。

執行委員　高畠 栄（たかはた さかえ）

①国公総連全農林労働組合
埼玉分会
②A型
③越谷市
④継続は力なり
⑤小さな政府づくりを合言葉に安倍政権は公務員の定員を削減する一方で公務・公共サービスの民間委託や公務職場に非正規労働者を増やし続けています。全ての労働者が健康で文化的な生活を送るために公務・公共サービスの質的向上と賃金をはじめとする労働条件向上に向けて連合埼玉の仲間とともに奮闘する決意です。

執行委員　丸山 巧（まるやま さとし）

①日本教職員組合
埼玉教職員組合
②B型
③東松山市
④ゆとり
⑤働く人々の職場でのゆとり、生活の場でのゆとり、組合活動内でのゆとりをすべての人々が持てるよう、はりきり過ぎずに取り組んでいけたらと思います。

執行委員　山本 豊（やまもと ゆたか）

①建設埼玉
②A型
③北本市
④万里一空
⑤労働者の一員として、労働者が生きがいのある生活を送れる社会、誰でも人権を得られ差別されない社会、また、介護や育児・障害など相互扶助の精神の下、より良い社会になるよう皆様と共に運動を前進させたいと思います。

執行委員　佐藤 洋太（さとう ようた）

①UAゼンセン　ベルク労働組合
②A型
③蓮田市
④愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ
⑤この度、青年委員長を仰せつかりました。今まで先輩方が果たされていた活動の牽引役を、今度は自分が務めると思うと身の引き締まる思いです。青年委員会の代表として、若者の意見を執行委員会に反映できるように活動したいと思っていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

E-mail:rengo-saitama@mlaa.rengo-net.or.jp
URL http://rengo-saitama.jp/

『どうしたの？』『それは大変だったね』

教育フォーラム2016開催

11月19日（土）川口市民ホールにて、教育評論家の尾木直樹氏を講師に招き、「将来を担う子どもと若者のために」をテーマに、埼玉労福協・連合埼玉共催による「教育フォーラム」を開催した。今回のフォーラムには、多くの一般市民が参加しており、埼玉労福協理事長でもある小林直哉会長からは主催者挨拶として、労福協や連合埼玉が取り組む奨学金問題やフードバンク、県市町村への政策・制度要請の活動紹介と、「子どもの世界では、格差や貧困が広がり、少年犯罪も発生しているが、こうした問題について多くの皆さんと共に考え、より良い埼玉県になるための最初の一歩にしてほしい」との訴えがあった。また、講演会では、尾木ママ特有のママ言葉で話しが進められ、会場内を埋め尽くす353名の参加者は終始なごやかな雰囲気に包まれていた。

テーマ：将来を担う子どもと若者のために
尾木直樹氏の講演要旨

大学の教員をしていた時代からNHK教育番組には数多く出演していたが、7年前の民放バラエティー番組で明石家さんまさんから「ママー」と呼ばれ尾木ママが誕生してから、知名度が飛躍的に上がった。

先日、アメリカの大統領選挙でトランプ氏が勝ったが、根底には貧困問題がある。冷静に考えればクリントン氏が勝つという予想になるが、日々仕事もなく生きることに苦労している人は読解力が劣りだし、これ以上失うものはないことで、言うことがわかりやすいトランプ氏に賭けてみようという気持ちになる。事実、トランプ氏に投票した人に聞いてみると「クリントンは何を言っているのかわからない」と答えている。

今若者に何が起きているか。内閣府発表の平成26年度「子ども若者白書」によると、日本を含めた世界6か国（日本、韓国、アメリカ、イギリス、フランス、スウェーデン）での意識調査で、「将来に希望を持っているか？」「社会問題は変えることができるか？」「自分自身に満足しているか（自己肯定感）？」という質問に対し日本の若者は6か国中いずれも低い値となった。

親の年収と子どもの学力の関係は、以前はタブーとされていたが、今はデータが明確に出ており、年収と学力が比例していることは明らかになっている。塾にかける費用も大学の進学率も親の年収が高いほうが高い。貧しくても大学に行けるような仕組みを作らないと若者が希望を持てない。奨学金制度も問題で、大学生向けの利息の付かない給付型の奨学金がないのは日本だけ。教育は未来への投資と言われているが、日本はOECDの中で教育にかける費用はGDP比でみると、今年やっと下から2番目となったが、これまではずっと最下位である。

家庭でもできる子育てとしては、子どもの自己肯定感を育てることが重要である。困っている子どもにかける言葉はふたつでいい。『どうしたの？』と『それは大変だったね』のふたつでいい。ぜひこれだけは覚えてほしい。

教育評論家　尾木直樹氏

今、組合リーダーに求めること

組合役員教育プログラム修了証書授与式

10月27日(木)あけぼのビルにて、組合役員教育プログラム修了証書授与式を開催した。連合埼玉では、労働組合役員向けの教育プログラムとして、基礎講座(8講座)、実務講座(6講座)、スキルアップ(6講座)と3つの分野にわけ、全20講座を毎年開催しており、それぞれの分野ごとに全講座を受講された方を対象として、修了証書の授与をおこなっている。本年の修了者は、基礎講座で3名、実務講座で2名、スキルアップで2名となった。

冒頭、組合役員教育プログラム運営委員長の大谷副会長より「日頃の活動をつうじて、ここで学んだことにさらに磨きをかけ、組合員から信頼される役員となってもらいたい」との挨拶があった。

続いて、特別講演として「今、組合リーダーに求めること」と題し、小林会長に講演いただいた。小林会長からは、「労働組合を取り巻く環境は厳しく、変化もしている。そのような中ではあるが、わくわくどきどきを組合員に伝えることができる、自らもわくわくどきどきするような活動をしていきたい。そのためにも新しい発想で提言をしていってもらいたい」と檄をとばされた。

最後に小林会長より修了者一人ひとりに修了証書が手渡され、修了者からは、「非常に刺激的な研修だった」「学んだことをもっと実践で活かせるようになりたい」との言葉があり、修了証書授与式は閉会した。

挨拶をする大谷副会長

小林会長と修了者
左から2人目　我妻 海波(電力総連)
3人目　成岡 英一郎(自治労)
4人目　山本　健(電力総連)

現在予定される12月の日程表です

12月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	木		①労福協東部ブロック「第51回定期総会・記念レセプション」 ②2016年度北方領土返還要求アピール行進(10:00～・日比谷公園野外音楽堂)
2日	金		①北埼玉地域協議会「部会合同幹事会」(18:15～・羽生ルートイン) ②朝霞・東入間地域協議会「第3回地協委員会」(18:15～・朝霞市産業文化センター)
3日	土		
4日	日		
5日	月		
6日	火	①第1回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館) ②組合役員教育プログラム開講説明会(15:30～・ときわ会館)	
7日	水	第4回ライフサポートステーション運営会議(10:00～・連合埼玉会議室)	
8日	木	埼玉シニア連合編集委員会(14:00～・連合埼玉会議室)	
9日	金		①関東ブロック「オリンピック・パラリンピック概要説明会」「第27回定期総会」(14:30～・16:00～・ラングウッド) ②国公総連埼玉「第25回定期大会」(18:30～・さいたま新都心with youさいたま)
10日	土	災害ボランティア隊員研修(中級編)(13:30～16:30・JAM友愛会館4F)	
11日	日		
12日	月		埼玉労働局「平成28年度第2回労働審議会」(9:30～・プリランテ武蔵野)
13日	火		
14日	水		川越・西入間地域協議会「第6回幹事会」(18:30～・ネット21川越)
15日	木	埼玉シニア連合編集委員会(14:00～・連合埼玉会議室)	①秩父地域協議会「第3回幹事会」(18:00～・勤労者福祉センター) ②埼玉労福協理事会(10:00～・ときわ会館)
16日	金		①比企地域協議会「第28回地協委員会」(18:00～・ホテル紫雲閣) ②西部第四地域協議会「地協委員会」 ③関東ブロック女性代表者会議(12:00～・連合本部3F会議室) ④第4回構成組織・地方連合会女性代表者会議(14:00～・連合会館)
17日	土		
18日	日		
19日	月	ネット21「第6回運営委員会」(10:00～・連合埼玉会議室)	
20日	火		
21日	水		さいたま市地域協議会幹事会(18:30～・さいたま市職)
22日	木	埼玉シニア連合編集委員会(14:00～・連合埼玉会議室)	
23日	金		
24日	土		北埼玉地域協議会「第23回地協委員会」(10:00～・羽生市民プラザ)
25日	日		
26日	月		
27日	火		本庄児玉郡市地域協議会「第15回地協委員会」「新春のつどい」(18:00～・19:00～・埼玉グランドホテル本庄)
28日	水		
29日	木	12月29日～1月4日まで年末年始休暇	
30日	金		
31日	土		

E-mail:rengo-saitama@mlaa.rengo-net.or.jp
URL http://rengo-saitama.jp/

Akebono Building

あけぼのビル

事務局長　佐藤 道明

連合埼玉は第20回地方委員会を11月16日に開催し、2017年度活動計画を確認した。2017年度活動計画は、昨年11月に開催した第14回定期大会で確認された2016～2017年度運動方針を補強するものである。

連合は、すべての働く者の幸せをめざす運動の砦とならなければならない。一人ひとりの参画意識を高め、丁寧かつ大胆な議論をおこない、「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけ、運動体としての組織基盤の強化に引き続き取り組むとともに、連合運動を積極的に発信し行動していく。特に、いまの社会の流れを変えていくために「底上げ・底支え」「ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」「支えあい・助け合い」の運動に取り組むとともに、将来にむけた長期展望を視野におく。また、「組織力」「発信力」「政策立案能力」「政策実現力」を強化し、連合運動への求心力を高めていく。

本号では、2017年度の活動のポイントについて考え方を述べることとする。

◆2017春季生活闘争

月例賃金にこだわった闘争を進めてきたことにより3年連続して賃金の引き上げを獲得したものの、個人消費をけん引するまでの水準には至っておらず、引き続き月例賃金にこだわる取り組みを進めなければ、デフレ状況に再度落ち込みかねない。また、格差の是正も不十分である。したがって2017春季生活闘争においても月例賃金引上げの流れを継続させる必要がある。

「経済の自律的成長」「社会の持続性」を実現するためにも、所得の向上により消費の拡大をはかることが必要である。そのためには、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」と「格差是正」の実現が不可欠である。とりわけ、ＧＤＰの約6割を占める個人消費の拡大が不可欠であり、特に雇用労働者の7割を占める中小企業で働く仲間、そして2000万人を超える非正規労働者の「底上げ・底支え」「格差是正」が進むかどうかにかかっている。

日本はすでに超少子高齢化・人口減少社会に突入しており、不可避的にもたらされる労働力不足の状況にあっても社会・経済を自律的かつ持続的に成長させるためには、多様な「人財」の活躍とそれを包摂する社会の構築が不可欠である。限られた「人財」はそれぞれの状況もニーズも多様であり、チームワークや暗黙知を活用する日本型経営の強みを発揮する中で活躍してもらうためには、個々人の状況・ニーズに合った働き方が選択でき、かつ、加速度的に進む技術革新に対応して生産性を向上させ、それに見合った処遇が確保できるようにすること、換言すれば「ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」の実現を可能にする「人への投資」を求めることが必要である。

◆「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」

暮らしの「底上げ」に対する国民の意識を高め、連合が一人ひとりの思いと国会での論議との橋渡しをする役目をより積極的に果たすことで、働く者・生活者の求める政策実現の動きを加速させることが必要である。

キャンペーン第1弾において、多くの国民が自分のことと感じられるよう設定した4つのキーメッセージ「暮らし、苦しくなっていませんか？」「仕事、きちんと報われていますか？」「老後や子育て、不安はありませんか？」「いまの政策、働く人が主役ですか？」を引き続き掲げ、次のテーマに取り組む。①奨学金制度の拡充に向けた取り組み②介護離職の防止と待機児童問題の解消に向けた取り組み③雇用形態間の不合理な格差をなくす取り組み④公正取引を実現する取り組み、など、広く社会の声を集め共感の輪を広げる「社会への運動」を展開する。同時に、連合組合員の運動への参画「職場での運動」を高め、「ヨコの広がりとタテの深堀り」により社会のうねりをつくりだしていく運動を展開する。

◆組織拡大「20万連合埼玉」

組織拡大の目的は、低下を続ける組織率に歯止めをかけることによって、労働運動の復権をはかり、その結果として、政策・制度の実現力のさらなる向上をはかることである。

組織拡大は、労働組合の基本的機能であり、各組織においても様々な場面で取り組みがおこなわれているが、現場には現場の苦労もあり、現状の社会情勢からしても容易なことではない。しかし、労働運動がある限り必ず向き合わなければならない課題である。

労働組合のない職場や労働組合に加入していない働く仲間の悩みやニーズを聞き、労働組合をつくる権利を周知し、雇用不安の解消や労働条件の維持改善のため、団体交渉をおこなう労働組合の存在意義を共有することが必要である。

安心して働ける環境整備に向けた、集団的労使関係の再構築を進めるためにも組織拡大の取り組みを全力で進めていく。

以上、主な取り組みについて記述したが、私たちが取り組むべく運動課題は山積しており、一歩一歩前進をはかるためには、連合運動総体としての取り組みが必要である。改めて、関係各位の支援・協力をお願いする。

2016.11.24